

主義ってこれだ!

昨年4月の国立市議会議員選挙は自民党安倍政 権との闘いであり、デモクラシーの砦、地方自治 を守る闘いであり、再び加害者としての歴史を繰 り返させないという主体者としての闘いであり、 ゼッタイ負けてはいけないとの並々ならぬ覚悟を 持った選挙でした。

保守派新人、自民党が多数立候補する激戦の中 で、22人中21位とギリギリで当選、落ちなかった のは、私と同じ、もしくはそれ以上の強い覚悟を 持った市民集団の力があったからだと思っていま

今回の選挙であらためて実感したことは、社会 的弱者、マイノリティの側からものを見る、その 議席を守る意味の大きさと、その役割の大切さで した。

みんなが右を見ているときに、ひとり左を見る、 その権利の獲得こそ、全体主義を打ち砕き、風が 入ってくるやり方であり、その自由な空気の中に 本物の平和があることを国立市議会で証明し続け るのが、私の役割だと思った次第です。

5月の臨時議会での議長選挙に

早速立候補しましたが.

今回差別発言をして議長を辞職した石塚さんと 所信表明で対決!8対14で石塚さんに決まりまし た。

この構図が、今期の国立市議会を表す構図でし た。

この従前と大幅に逆転した議会構成が、12月に なって、

- ①22日の、国立市による上原元国立市長への求 償裁判の二審高裁判決、国立市完全勝訴。
- ②国保税を2016年度から平均22%も大幅値上げを 強行しようとしていること。
- ③今まで慎重だった公立保育園の民営化につい ての諮問をする。

などにつながっていった、と考えています。

加害者としての戦争を語る会

かがいしゃ

せんそう

かい ていれいかい

- ・2016年2月7日(日)午後1時半~4時
- · 公民館 集会室
- ・テーマ:島ぐるみの闘い!沖縄報告
- ・お話:秋山淳子さん(埼玉9条連代表)

安保法制で時代は変わりました。もう、年一回の学習会だけでは足りません。 情報交換や共有のために、年一回の学習会をつなぐ定例会を開きます。

2013年度に15%値上げしたばかりの**国保税** 更に平均**22%**もの大幅な値上げ **4月**からの強行実施予定に歯止めを!

この**突然の大幅な値上げ話**が、議会に示された のはなんと12月議会でした。

以下は12月14日の福祉保険委員会で質問し明らかになったことです。

★国立市は、10月1日から6日まで開かれた決算委員会の時点では今年度は3000万円ほどの赤字になるだろうと見ていた。

★しかし、10月9日に支払い請求が届き、税金収入が予算より1億円落ち込むことに対して、医療費は予算より2億円増加するということ、つまり3億円も足りないことが見えてきた。

★急遽、市長は(14日の理事者会議を経て)10月20 日に行政改革本部を開き、10月30日付けで国保運 営者協議会に22%値上げの有額諮問を期限は1月22 日まで、実施は2016年4月1日と決めておこなって しまいました。

そもそも、**このプロセスこそ問題**ではないでしょうか。

そうやってあわてて、開かれた運協は無理なタイムスケジュールにそって、12月末にはいろいろ付帯意見はついたものの、諮問内容を認める答申案を出し、パブコメや市民説明会も、型通りすませ、予定通り値上げを強行するつもりです。

私は、これまで、予算、決算委員会で繰り返し、**す**。 国保の被保険者のレセプトだけではなく所得、年

齢、生活実態をしっかり分析することが、値上げ の前に大事であるとのべて来ました。

国保の被保険者の平均所得は低くなり、平均年齢は若くなっています。失業したり、非正規で働く人たちが増えてきているからです。(かつては一次産業や自営業、退職高齢者がほとんどをしめていた国保ですが、現在は被保険者の平均年齢は49.5歳、平均所得は194万円です。)

その様な**生活困窮層が多数をしめている**にもかかわらず、社会保険よりも多く負担を背負わせているのが国保の実態です。

被保険者の生活の実態を検証することがなく、 急激に値上げすれば、今度は国保税を払えない人 たちが出てくると思います。

 \rightarrow

今市民の意見を聞く会を開いていますが、1月6日の北市民プラザの参加者は4名、7日の南ブラザは0名でした。8日の市役所は9名、10日の公民館は9名、合計で22名の参加でした。国立市の人口は73000人、国保の被保険者数だけでも19547人

(2014年4月)います。 ほとんどの対象者 が知らない内に、 **この様な大幅値上**

この様な大幅値上げが決定されていくことに反対します。

フ 月

安保法制審議が本格化



市議会で一般質問する上村和子

5月

る学習会」を開きました。 「沖縄から平和・基地・性暴力 沖縄から高里鈴代さんをお招き 10月、1日~6日決算委員会福祉保険委員会で秋田県藤里町社会福福祉保険委員会で秋田県藤里町社会福期。「福祉に関わる人間は、対象者を支援対象の認識にのみ留まり、自分より能力を持っている人だという認識になかなかたてない、それが課題」の言葉に共感。国立市に呼びたいと思いまずによ。

9月、議会。国政はひどいが、地域 9月、議会。国政はひどいが、地域

8月、敗戦後70年、安保法制審議 木スピスで亡くなる方が複数おられ終 ホスピスで亡くなる方が複数おられ終 で国会前に通う様になりました。また ○

6月、議会。矢川の家から東の事務 の見、議会。矢川の家から東の事務 した。 4月、とても良い選挙をやることできましたが、乱戦の末、ギリギリできましたが、乱戦の末、ギリギリ

~激動の一年でした~2015年を振り返っ

元市長の上原さんに対する 求償裁判はもはや制裁の域に!

一審地裁判決では、債権放棄の議決をした市議会の意向を重くとらえ、国立市が完全敗訴だったものが、今回は、最近の議会の意見に従うべきとの意見も添えて、一審とは真反対の国立市が完全勝訴の判決が出てしまいました。

当然、上原さんは上告、最高裁まで持ちこまれることになりましたが、最高裁が受理するかどうか、またその決定まで1年ほどかかるケースもあり、見通しがまったくたたない状態です。

今回の裁判ほど、後味が悪いものはありません。 ●元市長に対する責任追及というより、見せしめ

- に近いからです。
- ●長引けば長引くほど、請求金額の利息がサラ金 の様に雪だるま式に増えていくからです。

政治も、司法も、行政もバランスと人間味が大 事だといつも私は考えます。

本裁判は、その両方を欠く嫌な裁判で、長引けば取り返しのつかない国立市の歴史に禍根を残すものになると私は思っています。

明和地所は8年前、国立市を訴え、その裁判で勝って得た損害賠償金は利子も含め振り込まれた全額を、受け取ることなく国立市に寄付しました。これは、企業イメージを考えて、お金が目的ではないことを示す行為であったと考えます。

ある意味そこに道理があります。

しかし、今回の国立市が起こしている裁判は、 明和地所からの寄付はないものとして、満額プラ ス毎日増え続ける利子(試算では毎日4200円 ずつ増えていく。これこそが制裁)をも含めてお 金を請求するための裁判であり、理屈はつけられ るがそこに道理を見つけられません。

<1日4200円ずつ増えていく恐怖!>

12月22日の判決では

- ①明和地所に支払った(損害賠償額2500万円 プラス利息で)3123万9726円
- ②平成20年3月28日から支払済みまで年5分の割合 による法定利息の支払い

を認めています。

ちなみに12月22日の時点では、この②の利息だけで1208万9000円ほども膨らんでおり、 ①と②を加えると何と合計で4332万9000 円ほどになっています。

(試算では)さらに、これからも毎日 4 2 0 0 円ず つ増えていきます。

〈争いより和解で終わらせよ!〉

このまま最高裁判所で確定したら、佐藤市長は、 今は個人である上原さんに途方もない金額を請求 することになります。

いつか、佐藤市長も、議員たちも、市民に戻る 日がきます。その時には、いや、今でも、地域で 会えば、あいさつを交わし、良き隣人に戻れるこ とが地方自治の精神なのだと思います。

佐藤市長は最高裁で判決が出る前に、 和解の英断をすべきと考えます。



韓国、発達障害人 当事者大会に参加



読谷村役場にて



藤里町、菊池まゆみさんと

人権施策が一歩進めました。 で、外国籍市民懇談会が開けたこ で、外国籍市民懇談会が開けたこ とらえ直しができました。 財戦後70年の年に、沖縄、辺野 財戦後70年の年に、沖縄、辺野

12月議会は、人権

114792 女旨外子差別の陳情で、我状でれたか あってはならない二次被害が!

あたりまえですが、陳情に対しては 誠実に審議しなくてはなりません。

今回の陳情は、当事者である方から の陳情であり、特に決して、二次被害 を与えることがない様な順重さが必要でした。にきかかりらず、差別や シガなび出したことは、私として8 大変ショクでした。 事実婚を選択 し、子どもが生まれた当事者に対けて 「チビさがかわいそう。 ひどい 母親 だとくり返し非難の言葉をあびせら 水た。」という陳情の趣旨説明の時 に、「当然だよ・」というヤジニラの重さを許さないと、最終本会議で、議長不信任案を提出、その結果 を出す前に、辞職願いか出され、議長 解職となりました。

でした。これで終った訳ではありません。二度とくり返さないためにも、議員向けの学習する場を提案したいと思っています。

高架下の認可保育園の建設 に、ひとり反対しました。

12月議会の補正予算に高架下保育圓建設に 関する予算が入っていました。高架下は子 どもが有つ環境としては適正ではありませ ん。説可保育園を高架下に認めるというこ とは保育行政の後退です。全ての子どもが 良好な環境で公的保育を受ける権利があるはずです。これまでを言い続けた国立市保育 指針を早急に完成させる様に意見しました。

継続して質問続けます。

非正規職員の82.7%は女性

~ 女性の非正規職員の正職化を!~

国立市の正規職員と非正規職員の割合は ついに、非正規職員の方が多くなりました。 その中で、特に女性の非正規職員の多さは 間接差別と呼ばれています。重大な問題 として、今後を質問を続けます。

問題がしいはかいてした。

全国初!



包括的性暴力禁止法の早期制定を 求める意見書を採択!

11月7日・8日と沖縄で開かれた全国 シェルターシンポジウムへ 暴力のない世界にへ 性暴力 禁止法の制定に向け てへに参加し、

今の日本には包括的な性暴力に対する法 的枠組みはなく、基本的には100年以上 前の明治時代の性道徳に基づいた刑法の 規定があるのみという驚くべき事実を知 りました。シェルターなどの現場の民間 団体やNGO等が、体をはってDV被害者の支援を続けてきたことで、多くの女 性のいのちが救われてきた訳ですが、複 雑化する被害に対して、抜本的な法整備 が必要になっています。政府もようやく 重い腰を上げ、法制定の手続きに入って いますが、現場の声を聞き、包括的な自 立までの総合的支援を盛り込んだ法律の制定を求める意見書を提案、15対6 で、採択されました。

(全级〈完成》

※男女平等推進計画に期待!

・科当事者の方からの提案による、 LGBT研修至終之た職員入の レインボーの缶バッジ.補正予質に入りました。

今女小生の貧困と3どど、若看の 質困への施策は急務の

ひとり親世帯の貧困率は54.690. 子どものらんに一人は貧困(平均所 得の半分を下回るう、過去最悪となり ました。又、高齢女性,若年女性の 電困や、性暴力やぎゃくたいで深刻 化していますの国を布でき、早急な 取り組みが求められます。